

IBM Analytics for Apache Spark

ご利用条件(以下「ToU」といいます。)は、本「IBM ご利用条件 - SaaS 特定オフリング条件」(以下「SaaS 特定オフリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 - 一般条件」(以下「一般条件」といいます。)という表題の文書で構成されています

(URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オフリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オフリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オフリングのご契約条件」のうち該当する契約条件(以下「本契約」といいます。)が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

IBM Bluemix は、Analytics for Apache Spark サービスを利用するための技術的な前提条件になります。新規ユーザーは、オンライン登録フォーム (<https://console.ng.bluemix.net/registration/>) によりアクセス登録ができます。

1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オフリングは、これらの「SaaS 特定オフリング条件」の対象です。

- IBM Analytics for Apache Spark Reserved Enterprise Interactive (Spark 1.4.1)

2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」に記載された以下の課金単位に従って販売されます。

- a. 「インスタンス」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「IBM SaaS」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用することが可能な「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

3.1 1 か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された 1 か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

4. 「IBM SaaS」の「サブスクリプション期間」の更新オプション

以下のいずれかを指定することによって、「サブスクリプション期間」の終了時に「IBM SaaS」を更新するかどうかをお客様の「PoE」で定めます。

4.1 自動更新

お客様の「PoE」に、お客様の更新は自動更新と記載されている場合、お客様は、「PoE」に規定されている有効期間満了日の少なくとも 90 日前までに、お客様の IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーへの書面による要求により、期間満了となる「IBM SaaS」の「サブスクリプション期間」を終了させることができます。IBM または IBM ビジネス・パートナーが、有効期間満了日までにかかる終了通知を受領していない場合、期間満了となる「サブスクリプション期間」は 1 年間、または「PoE」に規定される当該更新前の「サブスクリプション期間」と同じ期間のいずれかで自動的に更新されます。

4.2 請求の継続

「PoE」にお客様の更新は継続と記載されている場合、お客様は引き続き「IBM SaaS」にアクセスすることができ、「IBM SaaS」の利用に対して継続的に請求が行われます。「IBM SaaS」の利用を中断し、継続的な請求プロセスを停止するには、お客様は 90 日前までに、IBM または IBM ビジネス・パートナーに対し、お客様の「IBM SaaS」を解約する旨書面により通知する必要があります。お客様のアクセスの解約により、お客様には解約の効力を生じる月内の未処理のアクセス料金が請求されます。

4.3 更新が必要

「PoE」にお客様の更新タイプは「終了」と記載されている場合、「IBM SaaS」は「サブスクリプション期間」の満了時に終了し、お客様の「IBM SaaS」へのアクセスは削除されます。終了日以降も「IBM SaaS」の利用を継続するには、お客様の IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーに対して新規の「サブスクリプション期間」を注文し、取得する必要があります。

5. テクニカル・サポート

「サブスクリプション期間」中に「IBM SaaS」に対して提供されるテクニカル・サポートは、<http://www.ibm.com/software/support/handbook.html> に掲載されている「SaaS サポート・ハンドブック」または IBM が提供する後継の URL に定めます。「テクニカル・サポート」は「IBM SaaS」に含まれ、個別のオファリングとして提供されるものではありません。

6. 「IBM SaaS」オファリングの追加条件

6.1 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する場所の税金が適用されます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

別紙 A

IBM Analytics for Apache Spark は、オンデマンドでアクセス可能な、管理された Spark 環境を提供します。このサーバーにより、お客様は Apache Spark の次世代の機能にアクセスできます。ユーザーは試しに小規模の容量から始めて、開発用に容量を増やし、その後で本番にまで拡張することができます。すべて同じ環境内で可能です。このサーバーはすぐに分析に対応できるので、セットアップの障害をスキップでき、お客様の Spark の取り組みを迅速に開始できます。

「IBM SaaS」は、定量の「Spark Executors」の形式で一定の容量を定義します。各「Executor」には、メモリー 2.5 GB および 1 つの物理 CPU コア (または同等物) のプロセッサを最大仕様として、Spark クラスタにより計算リソースの一部が割り当てられます。容量は、「IBM SaaS」の複数インスタンスを追加することで増やせます。

「IBM SaaS」オフリングは、「対話」モードのアクセスでの運用に限定されます。「対話」モードでは各要求は複数のタスク (事前に把握できません。) で構成される予定で、また個々のタスクを受け取ったとおりに実行します。要求は、お客様から完了するように指示を受けた後でのみ完了します。

「IBM SaaS」は、オープンソースの Spark プログラムの 1 つの特定バージョンへのアクセスに限定されます。異なるバージョンへアクセスするには、「IBM SaaS」の新規「インスタンス」を作成する必要があります。Apache Spark ごとに「IBM SaaS」の「インスタンス」が 1 つです。

IBM Analytics for Apache Spark Reserved Enterprise Interactive (Spark 1.4.1) オフリングには、最大 30 の「Spark Executors」が含まれ、「対話」モードの実行を提供します。サポートされる Apache Spark のバージョンはバージョン 1.4.1 です。